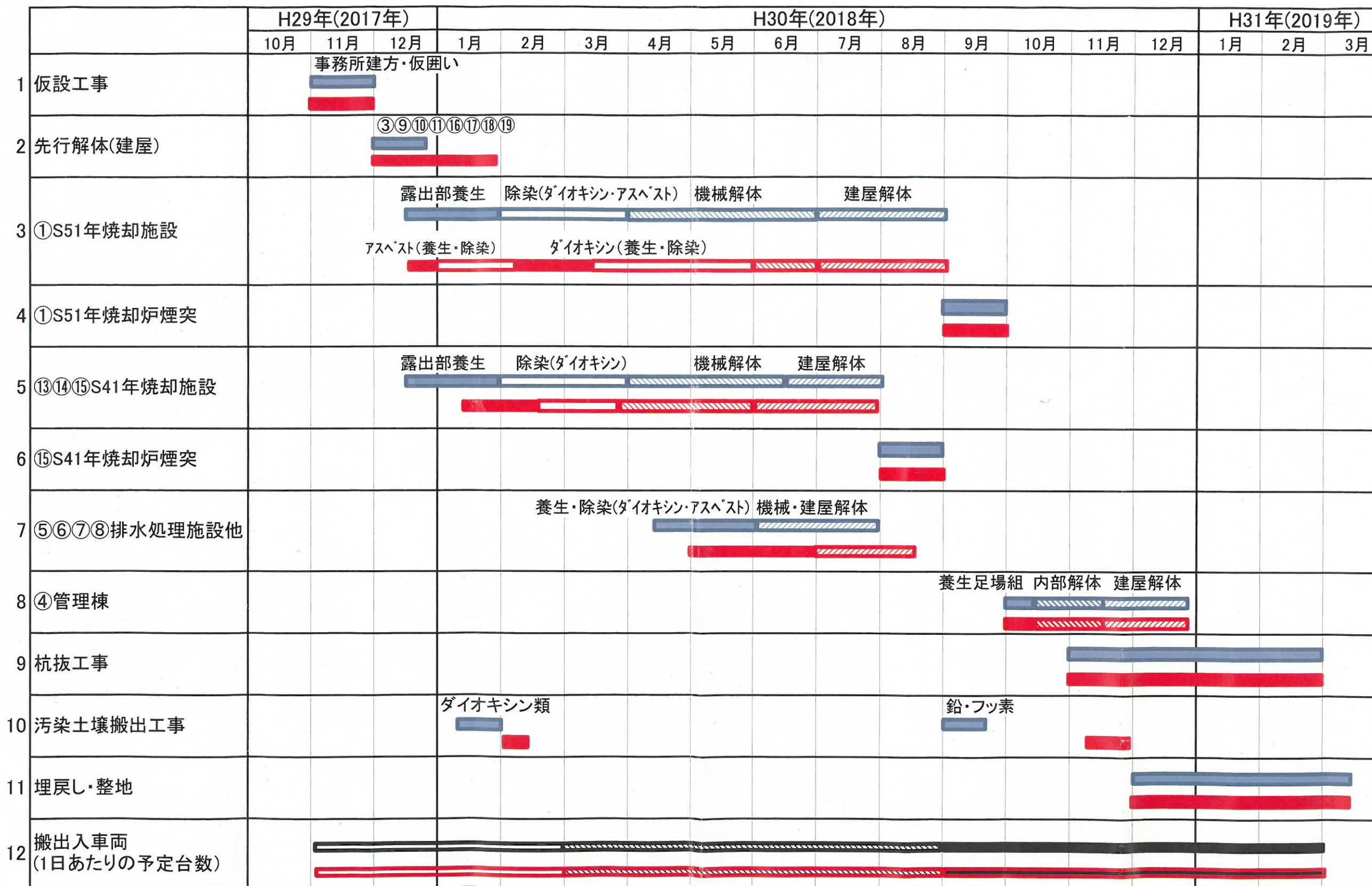


六和クリーンセンター解体工事・工程表

HP : <http://rokuwacc-kaitai.com>

資料①



※台数凡例 : ~10台 : 10~30台 : 30~50台

H29年11月



現場全景

H29年12月



現場全景



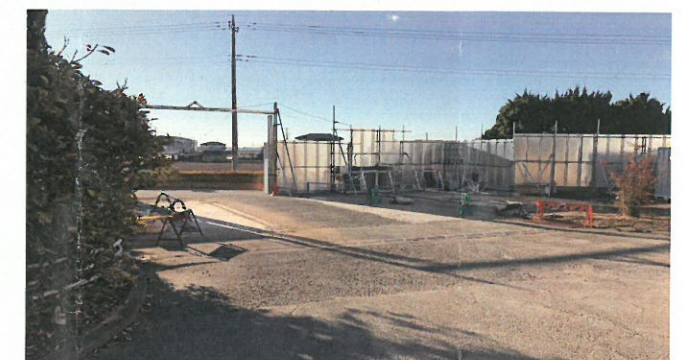
仮囲い完了 (北側)



仮囲い完了 (西側)



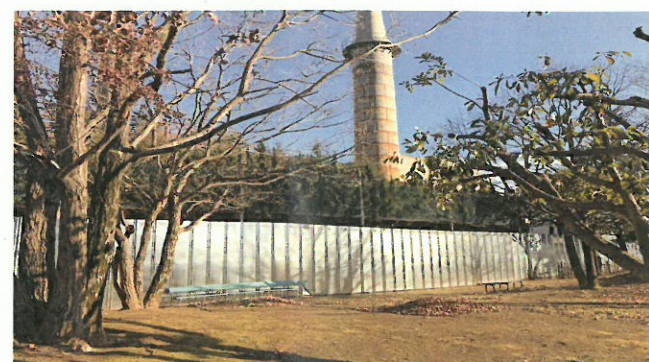
計量棟解体状況



計量棟解体完了



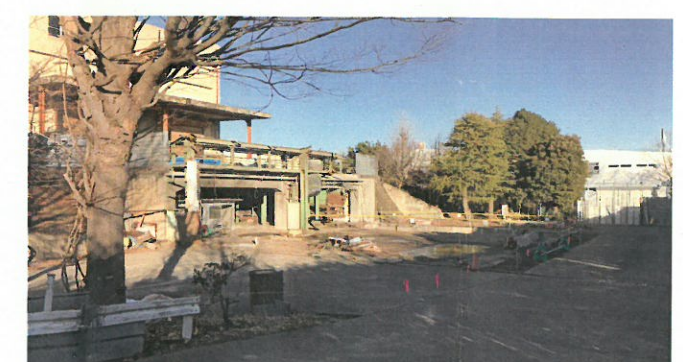
仮囲い完了 (東側)



仮囲い完了 (西側)



粉砕機処理棟解体状況



粉砕機処理棟解体完了

H30年1月



現場全景

H30年2月



現場全景



S51年焼却施設3工区吹付石綿
除去養生完了検査立会



S51年焼却施設3工区吹付石綿
除去前状況



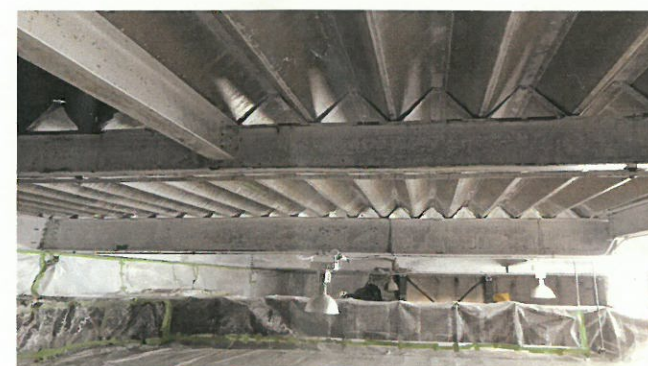
環境基準値以上ダイオキシン類汚染土壌
積込状況



環境基準値以上ダイオキシン類汚染土壌
搬出前立会



S51年焼却施設3工区吹付石綿
除去状況



S51年焼却施設3工区吹付石綿
除去完了状況



S41年焼却施設ダイオキシン類除染
養生完了状況



S41年焼却施設ダイオキシン類除染
状況 (灰出し作業)

○事業の目的

本市のごみ処理施設については、竣工から20年以上が経過し、建物や設備の老朽化が著しいが、特に「松戸市資源リサイクルセンター」については、昭和56年に竣工後、36年が経過していることから施設の更新が必要である。

また、粗大ごみの処理については、材質ごとに「第3松戸市清掃工場（和名ヶ谷クリーンセンター）」、「日暮粗大ごみ圧縮処理施設（日暮クリーンセンター）」及び「松戸市資源リサイクルセンター」の3施設で処理している。

このことから、本市の課題であった安定的且つ効率的な処理体制の確立を図るため、すべての粗大ごみを1カ所で処理することができる、「（仮称）松戸市リサイクルプラザ」を「松戸市清掃工場（六和クリーンセンター）」跡地に新たに整備するものである。

○松戸市リサイクルプラザの基本方針

●安全かつ安定的に処理できる施設

・市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、日々の施設の稼働に支障が生じないよう、質の高い維持・管理により、安全かつ安定的な処理ができる施設とする。

●周辺環境に配慮した施設

・周辺環境に配慮し、景観等においても周囲と調和のとれた施設とする。
 ・環境負荷の低減対策を講じ、周辺住民が安心して生活できる施設とする。

●環境学習・啓発を行う施設

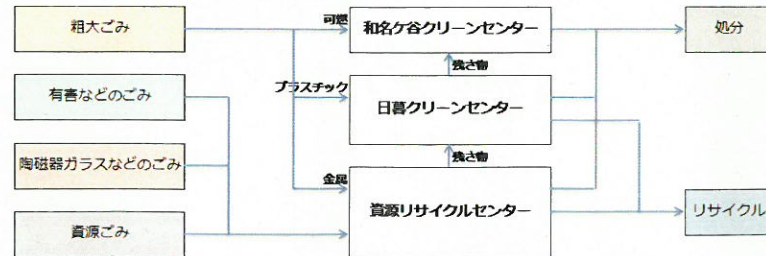
・施設見学に対応し、廃棄物処理について学ぶことができる施設とする。
 ・粗大ごみの再生販売等を通じた、循環型社会形成の啓発施設とする。

●経済性に配慮した施設

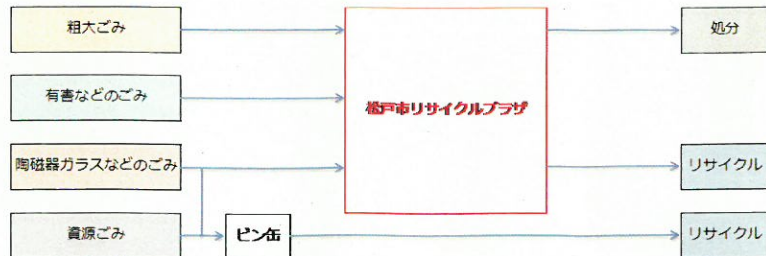
・民間のノウハウを活用し、建設から運営・維持管理等に至るまでのライフサイクルコストの低減を図る施設とする。

○ごみ処理について

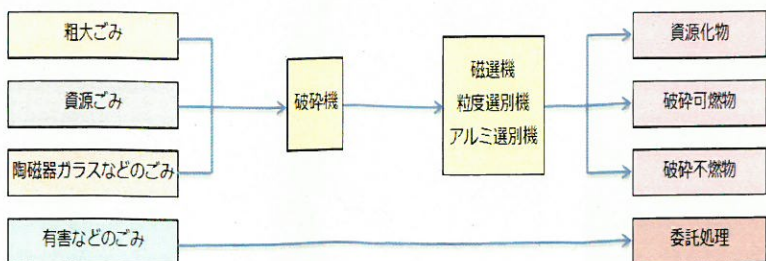
●現状



●建設後



○リサイクルプラザごみ処理方法について



○施設について

●処理能力

対象	項目	施設規模	算出式	ごみ処理量
粗大ごみ		17.0 t/日	$(3,569 \text{ t/年} \div 365) \times 1.22 \div 0.773 \times 1.10$	3,569 t/年
資源ごみ		14.8 t/日	$(3,246 \text{ t/年} \div 365) \times 1.17 \div 0.773 \times 1.10$	3,246 t/年
有害なごみ		0.7 t/日	$(111 \text{ t/年} \div 365) \times 1.49 \div 0.773 \times 1.10$	111 t/年
陶磁器・ガラスなど		6.5 t/日	$(1,291 \text{ t/年} \div 365) \times 1.30 \div 0.773 \times 1.10$	1,291 t/年
施設規模計		39.0 t/日		

※施設規模 = 計画年間日平均処理量 × 月変動係数 ÷ 稼働率
 月変動係数 過去5年間平均
 稼働率 稼働日数 (282日) ÷ 年間日数 (365日) = 0.773

●搬入、搬出車両想定台数

車両区分		台数
搬入車両	市委託車両（塵芥車）等	68台/日
	一般持込み車両	230台/日
	小計	298台/日
搬出車両	破砕物等搬出車両	3台/日
合計		301台/日

●環境保全計画

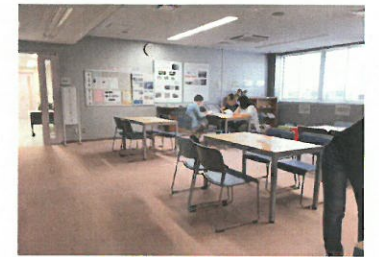
- ・環境基準の順守
- ・低振動・騒音機器の選定、周辺の保全対象（民家）に配慮した配置
- ・臭気の発生する作業は室内で行う

●啓発施設

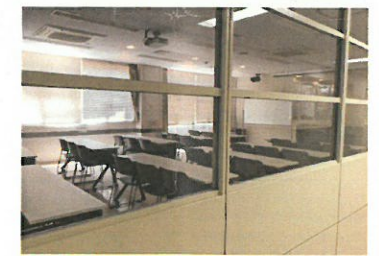
- ・コミュニティスペース
- ・研修室・会議室
- ・再生家具販売関連設備

●耐震性

部位	安全性の分類	重要度係数
構造体	Ⅲ類	1.00
非構造部材	B類	-
建築設備	乙類	-



コミュニティスペース(練馬区)

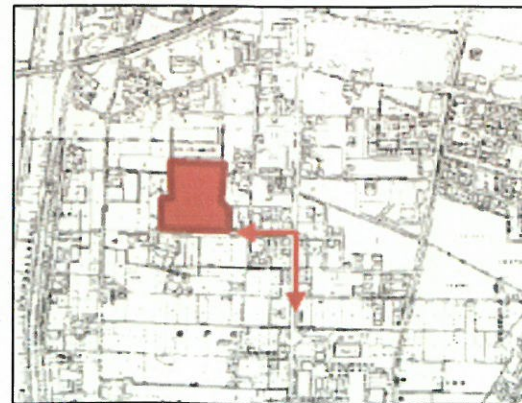


研修室・会議室(練馬区)

○配置計画

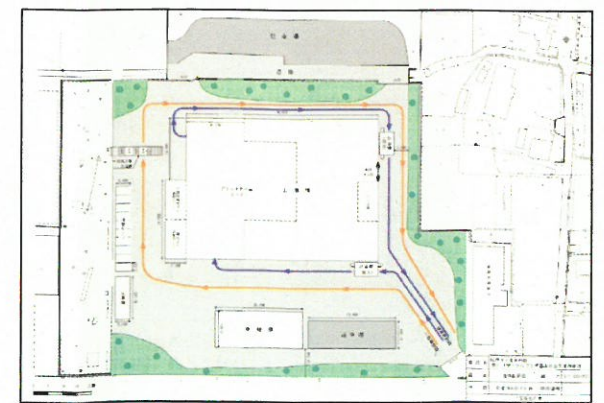
●搬入出ルート

県道より敷地南東側の入口から搬入し、搬入時と同様のルートを通り県道5号線へ退出



●計画動線

収集車 プラットホームへ右折進入し、工場棟北西側から退出
 一般車 工場棟北西側の計量棟で荷卸し後、工場棟の外周を通り、退出



松戸市リサイクルプラザ生活環境影響調査（概要）

○事業の目的

松戸市リサイクルプラザ建設にあたり、周辺への生活環境の現況を把握し、稼働による影響をあらかじめ予測・評価することを目的とした。

○生活環境影響調査項目の抽出、設定

基本計画及び計画地周辺の土地利用の状況、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」を踏まえて、生活環境影響調査項目を表に示すとおり、生活環境影響調査項目を抽出・設定した。

調査事項	生活環境影響要因				
	生活環境影響調査項目	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気環境	粉じん		○		
	二酸化窒素				○
	浮遊粒子状物質				○
	騒音	騒音レベル		○	○
	振動	振動レベル		○	○
水質環境	悪臭	臭気指数		○	
	水質	生物化学的酸素要求量	○		
		浮遊物質	○		

○予測結果

1 大気質

(1) 施設の稼働（本施設は、「大気汚染防止法」における「一般粉じん発生施設」に該当しない）

項目	粉じん	参考指標※
粉じん	0.056~0.089mg/m ³	0.6mg/m ³

※これを超えると地域住民に不快、不健康感を訴えるものが増加する

・予測分析及び評価

本施設では、処理設備等を建屋内に配置し、搬入や荷おろし等の作業を屋内で行う。また、ごみ収集車が出入りするプラットホームの出入口にエアカーテン等を設置し、搬入時は可能な限りシャッターで外部と遮断することにより、粉じんの飛散を防止する計画であることから、粉じんの影響は小さいと予測する。以上のことから、施設の稼働によって、現況の環境が悪化することはないと考えられるため、**整合が図られていると評価**する。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

項目	予測結果	環境基準
二酸化窒素	0.036~0.038 ppm	0.04ppm から0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質	0.053~0.054 mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下かつ1時間値が0.2mg/m ³ 以下

・予測結果評価

廃棄物運搬車両の走行に伴い発生する、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の予測結果は、二酸化窒素の日平均値が0.036~0.038ppm、浮遊粒子状物質の日平均値が0.053~0.054mg/m³ となり、環境基準を下回っている。以上のことから、**整合が図られていると評価**する。

2 騒音（単位：dB）

(1) 施設の稼働

区分	予測結果	規制基準※
昼間(8時~19時)	48	50

※松戸市側60（松戸市公害防止条例施行規則） 流山市側50（流山市公害防止条例施行規則） のため50を採用

・予測結果評価

施設の稼働に伴って発生する騒音の予測結果は、規制基準を下回っている。以上のことから、**整合が図られていると評価**する。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

区分	予測地点	調査結果	予測結果	環境基準	要請限度
昼間 (6時~22時)	流山街道	71	71	70	75
	入口道路	51	57	60	70

※廃棄物運搬車両等は、環境基準による夜間の時間帯には走行しない

※要請限度…市が公安委員会に措置を取ることが要請できる限度

※環境基準…騒音に係る環境基準

・予測結果評価

予測結果は、流山街道で71dB、入口道路で57dBであり、**入口道路では整合が図られていると評価**する。

流山街道では環境基準を上回るものの、運搬車両による増加分が1dB未満であることから、**廃棄物運搬車両等の走行による影響は小さいと評価**する。

3 振動（単位：dB）

(1) 施設の稼働

区分	予測結果	規制基準※
昼間(8時~19時)	48	60

※松戸市側65（松戸市公害防止条例） 流山市側60（流山市公害防止条例） のため60を採用

・予測結果評価

施設の稼働に伴って発生する振動の予測結果は、規制基準を下回っている。

以上のことから、**整合が図られていると評価**する。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

区分	予測地点	調査結果	予測結果	規制基準	要請限度
昼間 (7時~20時)	流山街道	51	51	65	65
	入口道路	31	49	60	65

※要請限度…市が公安委員会に措置を取ることが要請できる限度

※規制基準…松戸市公害防止条例、流山市公害防止条例

・予測結果評価

廃棄物運搬車両の走行に伴って発生する振動の予測結果は、規制基準を下回っている。以上のことから**整合が図られていると評価**する。

振動の目安	
dB	振動
70	震度2・鉄道路線脇
60	震度1・幹線道路脇
55	人が揺れを感じる
50	一般道路脇

4 悪臭

・施設からの悪臭の漏洩

項目	調査結果		基準値
	計画地風上	計画地風下	
臭気指数	10未満	10未満	13
特定悪臭物質	2項目すべてにおいて基準値を下回る		-

臭気指数の目安	
指数	目安
20	トイレの芳香剤
15	デパートの化粧品売場
10	梅の花

・予測結果評価

本施設で処理を行う廃棄物は、悪臭の発生源となる有機分は非常に少ない。また、本施設は荷おろし等の作業を室内で行い、プラットホームの出入口にエアカーテン等を設置し、可能な限りシャッター等で外部と遮断し、外部への臭気の漏洩を防止し、必要に応じて消臭剤を噴霧することで、悪臭の防止を行う計画であることから、悪臭の影響は小さいと予測する。以上のことから、現況の環境が悪化することはないと考えられるため、**整合が図られていると評価**する。

5 水質（単位：mg/l）

・施設排水の排出

項目	調査結果	予測結果	目標値 (※)
浮遊物質 (SS)	最大	16	25
	最少	2	
	平均	7	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	最大	1.9	2.0
	最少	0.6	
	平均	1.3	

※ 第二期水環境改善緊急行動計画水管理目標値

SSについては、BOD目標値に準じる基準値を設定

・予測結果評価

施設排水の排出に伴う排水のSS、BODの予測結果は目標値との整合が図られていると予測する。以上のことから、**目標値との整合が図られていると評価**する。

○予測結果の評価

本施設の内容、経緯、現状及び周辺環境の状況等により、生活環境影響調査項目として選定した大気質、騒音、振動、悪臭、水質は、概ねすべての項目について生活環境の保全上の目標とする環境基準等を満足することができ、生活環境へ与える影響は軽微であると評価する。なお騒音（廃棄物運搬車両等の走行に伴う影響）において環境基準を超過するが、運搬車両等による騒音の増加分が1dB未満であることから、生活環境へ与える影響は軽微であると評価する。